

相談窓口職員がギャンブル等依存症の本人や家族からの相談に適切に対応できるようにするため、平成30年度大阪府依存症関連機関連携会議ギャンブル等依存症地域支援体制推進部会において「支援のポイント」を作成しました。

## 構成

- |                     |                 |                               |
|---------------------|-----------------|-------------------------------|
| 〔第1章〕ギャンブル等依存症の基礎知識 | 〔第2章〕相談対応について   | 〔第3章〕ギャンブル等依存症の本人・家族への支援のポイント |
| 〔第4章〕体験から学ぶ（本人・家族）  | 〔第5章〕借金に関する基礎知識 |                               |

## 概要

### 第1章 ギャンブル等依存症の基礎知識

- ①ギャンブル等って何？ ②ギャンブル等依存症って何？ ③ギャンブル等ってどんな種類があるの？  
④ギャンブル等依存症になるとどうなるの？ ⑤ギャンブル等依存症の人ほどのくらいいるの？ ⑥ギャンブル等依存症って治るの？

### 第2章 相談対応について

本人の行動を監視したり、経済的問題を解決さえすればギャンブル等や借金は止まると思われがちですが、依存症の背景にあるギャンブル等に頼ってしまう根本的な原因（ストレスや生きづらさ等）へのアプローチがなければ、本人はギャンブル等が続けます。支援者はギャンブル等や借金をやめさせることにとらわれず、本人がギャンブル等に頼らざるを得ない理由に焦点をあてて支援の方向性を考えることが大切である。

### 第3章 ギャンブル等依存症の本人・家族への支援のポイント

#### ◆【本人・家族共通】支援のポイント◆

- ①相談に来たことをねぎらう
- ②話を受容的にじっくり聞く
- ③回復できる病気であることを伝える
- ④借金の問題は本人抜きで解決しない
- ⑤問題の解決を焦らない
- ⑥指示や説教をしない
- ⑦個別の状況を踏まえて支援する
- ⑧引き金と対処を考える
- ⑨病気による行動を理解する
- ⑩気持ちを正直に話せる場所につなげる
- ⑪他の機関を丁寧に紹介して、その後確認する

#### ◆支援のポイント【本人】◆

- ①本人のつらい気持ちに寄り添う
- ②説教等で正そうとしない
- ③コントロールしようとするしない
- ④再開したことを責めない
- ⑤小さなことでも評価する、褒める
- ⑥余暇の時間の使い方について一緒に考える
- ⑦やめたい気持ちとやめたくない気持ちの間で葛藤していることを理解する
- ⑧本人の変化のステージがどの段階なのか見極め、適切な働きかけや情報提供をしていく

#### ◆支援のポイント【家族】◆

- ①家族のつらい気持ちに寄り添う
- ②金銭問題への対応を一緒に考える
- ③本人を責めたり管理しないよう心掛けてもらう
- ④家族が不適切な対応をしていても責めない
- ⑤本人の意志を無視した金銭管理や監視は効果がないことを伝える
- ⑥家族自身の健康の回復をめざす
- ⑦重要書類の管理や避難場所の確保をしておく
- ⑧各家庭の事情や安全性に配慮する

### 第4章 体験から学ぶ ギャンブル等依存症の本人及び家族の体験談や支援者へのメッセージ

### 第5章 借金の基礎知識

- ①ギャンブル等依存症の人はどこから借りているの？ ②押さえておきたいポイント ③債務整理について ④債務整理にかかる支援者の心構え  
⑤いわゆるヤミ金について ⑥法的手続きのための費用が準備できない場合